

平成 28 年度 第 3 回 SD 研修会報告

内 容	第 1 回 外国人教員及び留学生対応のための実践英語
日 時	平成 28 年 8 月 16 日 (火) 9 : 00 ~ 9 : 30
場 所	宮崎国際大学 2 号棟 107 教室
進 行	ロイド課長
出席者	9 人
議 事 内 容	
<p>「外国人教員及び留学生対応のための実践英語」と題して、事務職員向けの SD 研修会を実施した。本学は、外国人教員が多く在籍する事に加え、海外からの留学生も在籍しているため、語学力（英語）は、業務上必要な能力のひとつと考えられている。</p> <p>指導は、本学で多くの翻訳・通訳業務に携わっているウォーカー課長が行い、事例を挙げながら、英語による病院での対応方法の解説が行われた。</p> <p>今回のポイントとしては、基本的に病院で問診されると思われる事項を伝える英語表現、痛みを表す英語について、内容を的確に伝えることに重点を置いた表現が示された。</p> <p>【事例】</p> <p>「どんな風に痛いのか」に対する英語表現として、激痛 (severe pain)、急性の痛み (acute pain)、うずくような痛み (cramping pain)、鈍痛 (dull pain)、ずきずきする痛み (throbbing pain)、打つような痛み (pounding pain)、突っ張り感 (tension) が主に使われる。</p>	